

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ また春がやってきました

3月31日、この10年間苦労を共にした市役所の職員15名に、お別れの辞令を渡しました。いつまでも健康で、幸せな人生を過ごしてほしいと念じつつ…。そして4月1日、代わりに、若い新規採用職員16名が入ってきました。公立大学法人(山陽小野田市立山口東京理科大学)も、当面は工学部のみの単科大学として、学部の定員800名でいよいよスタートしました。単なるこれまでの延長であってはならない、地方創生の趣旨を十分に生かした大学に育てたい、と決意しています。

この春から、本市の小中学校に勤務する教職員約40名の着任式もありました。

今日から、また新年度が始まります。市民のみなさん、よろしくお願いします。

■ 続・山陽オートの現状

山陽オートは多額の負債(前号でお知らせしたとおり)の返済に苦労していますが、自治券が発行している最近の「公営競技評」に、「地域に開かれたレース場」を目指す本市が、業務委託している「日写」と連携して多彩な行事に取り組んでいる様子の一端が紹介されています。

●**ランニングバイク** 5・6歳児が本物のレースの合間に「ランニングバイク」と呼ばれる路面をけて走る2輪車でレースを行い、その様子をプロの実況アナウンサーが実況解説しました。

●**日本パラサイクリング連盟合同合宿**

平成32年のパラリンピック自転車競技代表

候補も参加する合宿が、この夏、山陽オートレース場で行われます。

- カート耐久レース** 初心者も参加できるレンタルカートによる2時間耐久レース。元F1レーサーも参加して、場内を沸かせました。
- 土曜日** 本場開催時に100円均一で野菜を販売しました。大好評!
- 地元幼稚園の遠足** 走路中央の広い芝生で、縄跳びやかけっこなどで楽しみました。サファリパークの協力でうさぎやモルモットなどとの触れ合いも。
- 小学校での特別授業** 本市の「こども市民教育推進事業」の一環として、市内の小学校で、開催。選手がプロのレーサーとしての経験をもとに、あきらめず目標に向かって前進することの大切さを児童たちに語りました。など

■ ごみ収集担当からのお願い

収集後にごみを出す人がいます。小野田地区は午前8時30分まで、山陽地区は午前8時までにしてください。ぜひ、燃やせるごみと、燃やせないごみ、そして資源ごみに分別してください。ちなみに、ダイレクトメールなどの紙類は、貴重な資源ごみです。雑紙として「古紙類・ペットボトルの日」に出してください。なお、新聞、雑誌、ダンボール、紙パック、雑紙は、品目ごとに分けてくださると助かります。プラスチックは燃やせるごみです。どうぞ指定ごみ袋に入れて出してください。ドリンク剤などの金属製のキャップは、燃やせないごみです。

みなさんのご協力をお願いします。